

## 岐阜大学 教育推進・学生支援機構年報 第7号 発刊にあたって

岐阜大学教育推進・学生支援機構長 福井 博一

平素は、本学教育推進・学生支援機構の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

令和2年4月に、本学は名古屋大学と法人統合を行いました。これに期を合わせ、我が教育推進・学生支援機構もその内部組織の見直しを図りました。平成25年の機構発足以来、学生受入部門、教養教育推進部門、学修支援部門、学生生活支援部門、地域教育連携部門、教職課程支援部門、キャリア支援部門の7部門体制で教育改善ならびに学生支援を精力的に展開してまいりましたが、今般それら7部門を、アドミッションセンター、基盤教育センター、学生支援センター、教職課程支援センターの4センターに改組致しました。

高等教育や本学を取り巻く状況に目を向けてみますと、数理データサイエンス教育の体制づくり、地元岐阜への関心を高める科目の充実、ICTを活用したオンライン教育の質保証、名古屋大学と統合してできた新法人東海国立大学機構として、魅力的な教育・学生支援を2大学が協力して推進することなど、今後さらに注力していくべき課題が山積されています。

本年報は、法人統合そして機構の発展的改組を終えた後の初めての事業報告書であり、次年度以降の活動へと橋渡しする役割を備えたものです。加えて、機構を中心とした本学教職員の日頃の教育実践や、高等教育に関する学術研究の成果を発表することを目的としています。

この第7号では、新たに設置された各センターの活動報告に加えて、研究論文2本、実践報告8本、研究ノート1本、そして本学の学部生を対象に毎年開催しております「岐阜大学学生レポートコンテスト」の入賞作品3本を掲載しております。今号もこれまでどおり、インターネット上でご覧頂くオンラインジャーナルとしており、バックナンバーも岐阜大学のトップページから「教育推進・学生支援機構」→「年報一覧」とお進みになることでご覧頂けます。

今後とも本学当機構の取組をどうぞよろしくお願い申し上げます。